

## 二期作バレイショ品種の貯蔵温度と休眠期間

小村国則 (長崎県総合農林試験場愛野馬鈴薯支場)

### Kuninori KOMURA : Relationship between Temperature during Storage and Period of Dormancy in Double Cropping Potato Cultivars

二期作栽培では栽培期間が短いため、品種のもつ休眠期間の長短が植付け後の萌芽および初期生育の良否に関係し、収量や品質にも影響を及ぼす。秋作および春作収穫後の各品種の常温貯蔵での休眠期間について調査し、あわせて貯蔵温度による休眠明け期の違いについて比較検討した。

#### 1. 試験方法

常温貯蔵ではタチバナ、シマバラ、デジマ、ニシユタカ、メイホウ、農林1号の6品種を用い、1981, '82, '83, '84, '86年の秋作産および1980, '81, '82, '83, '86年の春作産種イモを供試した。また、貯蔵温度と休眠明け期との関係を見るため、秋作産種イモでは常温貯蔵と同じ6品種を用いて収穫2週間後から27℃, 22℃, 17℃, 12℃で処理を行った。春作産は農林1号を用いて梅雨明け後の7月26日から27℃, 22℃, 17℃で処理した。また、6品種を用いて22℃に処理し、常温貯蔵との比較を行った。

#### 2. 試験結果および考察

常温貯蔵では秋作産が春作産に比べて休眠期間が長い。品種間では秋・春作産ともにシマバラが短く、秋作産ではメイホウが、春作産ではニシユタカが長い(第1表)。

休眠明け期は貯蔵温度によってかなりの違いがみられ、秋作産種イモでは22℃区が27℃区より4日、17℃区より1週間、12℃区より3週間ほど早かった。品種間ではタチバナ、メイホウ、ニシユタカの休眠明け期が遅く、タチバナは22~27℃のやや高温下で、シマバラは17~22℃のやや低温下で早まる傾向がみられた(第2表)。また、春作産では農林1号について22℃区が27℃より4日、17℃区より12日早かった。また、6品種を用いた22℃貯蔵

により特にシマバラ、デジマ、メイホウの休眠明け期が早まる傾向がみられた(第3表)。

以上から、秋作産のタチバナ、メイホウ、ニシユタカは温蔵貯蔵での休眠明け期が遅いので他品種より早めに催芽処理することが望ましい。また、春作産は常温貯蔵(27~28℃)よりやや低くすることにより休眠明け期を早め、さらに低くすると遅らせられることから秋作産種イモの休眠明け時期の調節が可能となる。なお、貯蔵中の湿度の低下は種イモの減耗率を高め、休眠明け期を遅らせるので湿度の保持には注意が必要である。

第2表 貯蔵温度と休眠明け期との関係(秋作産)

試験年次	品種名	貯蔵始	貯蔵温度(℃)			常温貯蔵	
			27	22	17		
年		月.日	月.日	月.日	月.日	月.日	
1982	デジマ	1981年	—	1.12	1.22	2.5	3.10
	農林1号	12.16	—	1.14	1.22	2.8	3.11
	タチバナ		1.28	1.27	2.6	2.13	3.28
	シマバラ		1.19	1.11	1.12	1.23	3.14
1984	デジマ	1983	1.23	1.20	1.24	2.5	3.26
	ニシユタカ	12.16	1.29	1.23	1.30	2.9	3.23
	メイホウ		1.30	1.23	2.3	2.16	4.1
	農林1号		1.19	1.16	1.27	2.12	3.28
	タチバナ		1.15	1.19	1.25	—	3.13
	シマバラ		1.22	1.13	1.8	—	3.3
1986	デジマ	1985	1.18	1.14	1.19	—	3.14
	ニシユタカ	12.24	1.18	1.15	1.20	—	3.10
	メイホウ		1.28	1.22	1.30	—	3.18
	農林1号		1.20	1.18	1.24	—	3.18

第3表 貯蔵温度と休眠明け期との関係(春作産)

試験年次	品種名	貯蔵始	貯蔵温度(℃)			常温貯蔵
			27	22	17	
年		月.日	月.日	月.日	月.日	月.日
1981	農林1号	7.26	—	8.21	—	8.26
1984	農林1号	7.26	8.22	8.19	8.31	8.23
	タチバナ		—	8.12	—	8.13
	シマバラ		—	8.6	—	8.14
1986	デジマ	7.26	—	8.8	—	8.12
	ニシユタカ		—	8.26	—	8.28
	メイホウ		—	8.13	—	8.17
	農林1号		—	8.13	—	8.16

第1表 常温貯蔵での休眠明け期と休眠日数

品種名	秋作産(12月3日収穫)		春作産(6月11日収穫)	
	休眠明け期	休眠期間	休眠明け期	休眠期間
	(月.日)	(日)	(月.日)	(日)
タチバナ	3.11	98	8.16	66
シマバラ	2.28	87	8.12	62
デジマ	3.11	98	8.14	64
ニシユタカ	3.12	99	8.31	81
メイホウ	3.21	108	8.15	65
農林1号	3.17	104	8.21	71

注) 数字は5ヵ年の平均値を示す。休眠明け期は芽の長さ2mmになった種イモが全体の50%に達した日。各処理区とも100g程度の種イモ30個使用。